

10

OCT 2023  
VOL.168

心と心をビビビと結ぶコミュニケーションのお手伝いペーパー

# ishin-déns hin



## 水野印刷工芸 社内報

ミデコの日々の取り組みを  
知っていただくため、  
社外にもお配りして  
います。

みかわんこ▶



Let's コミュニケート!  
楽しいお買い物

きおく画伯

謎の既視感

社長と行こう! こっそり食堂

これぞこっそり食堂



特集

今月からいよいよスタート!  
MIKAWA de 遊び 100

# 特集

行きたい！見たい！食べたい！  
あいちを体験しよう！

Mikawa de 遊び

~あいち de 体験 2023~

10/1(日) ▶ 3/31(日)

詳しくは  
こちら！

毎年春と秋に、蒲郡を中心に近隣市町村で開催される「MIKAWA de 遊び 100」。  
食べる・作る・学ぶ・スポーツなどなど、  
三河地域を堪能し尽くす様々なプログラムが勢揃いしています。  
そしてなんと、今年はプログラムに参加するごとにもらえるスタンプを集めると  
抽選で豪華景品が当たる「MIKAWA de 遊び 100 スタンプラリー」も同時開催。  
これはもう参加するしかありませんね！

開催エリア

蒲郡、岡崎、西尾、豊橋、豊川、  
新城、田原、設楽、豊根、東栄、南知多

豪華賞品が当たる  
スタンプラリー

2エリア以上でスタンプ2個以上達成の方に抽選で

C賞 特産品 (2,000円相当)  
15名

2エリア以上でスタンプ3個以上達成の方に抽選で

B賞 ペア食事+温泉入浴券 (2名で5,000円相当)  
5名

2エリア以上でスタンプ4個以上達成の方に抽選で

A賞 ペア食事券 (2名で10,000円相当)  
3名

3エリア以上でスタンプ5個以上達成の方に抽選で

特別賞 ペア宿泊券 (2名で30,000円相当)  
1名

Wダブル  
Wチャンス  
早回り賞  
特産品 (1,000円相当)  
15名

令和5年  
12月31日までの応募で

## ●足立的気になるプログラム紹介●

蒲郡の空を飛んでみよう！  
パラグライダー 三河湾タンデムフライト

期間中毎日

要予約 当日払 駐車場有

パラグライダーでインストラクターと一緒に二人乗りで空を飛びプログラムです。蒲郡の星越海岸からボートに引かれて上空300mへ。そこでボートと切り離し10分ほどパラグライダー遊覧飛行です。上空からみる蒲郡の海や街は、美しくて感動します。

ワクワク！ドキドキ！みんなで楽しもう！  
はじめてのボートレース教室

10/15(日)・11/19(日)・12/17(日)・1/14(日)

要予約 駐車場有

講師の案内でブンアンドユウショク場の場内見学、4階の特別室にてボートレース講座（ボートレースのルール、舟券の買い方など）。ご希望の方は各自で実際に舟券を購入してレース観戦をお楽しみいただけます。

遠望峰山の大自然の中で体験するいけばな体験（華道体験）  
天の丸 いけばな体験（華道体験）

期間中毎日 除外日除く

要予約 当日払 幼児可 駐車場有

(除外日: 10/10~12, 11/7~9, 12/11~13, 12/27~1/5, 1/15~19, 2/6~8, 3/6~8)

遠望峰山の大自然の中で体験するいけばな体験（華道体験）。日帰りプラン・宿泊プランとセットも可。

誰もがおいしくゆでられる！漁師秘伝のゆで方  
うんまい!! 柔らかタコでゆで方体験と  
メヒカリの唐揚げ御賞味

期間中 月・火・土・日曜日

※設定日以外のご希望はお電話にて直接お問合せください。  
生のタコを塩で揉み、茹でたてを食べる体験。タコの旨みがいっぱいの漁師直伝のコツをご紹介します。一度食べたらやみつきです!! 名物めひかりの唐揚げのご賞味付き。タコのミニ知識も学べます。※タコの産地は入荷時により、異なります。

一度は体験してみたい！解説付きで初めてでも安心！  
茶室で懐石料理をいただきながらゆったりと  
楽しむ茶道

要予約 当日払 駐車場有

お茶室で平易な解説を聞きながらリラックスして「茶事」という茶道本来のスタイルを体感し、身体にも心にも優しく美味しい茶懐石をいただきます。一日程4時間です（正座不要）。はじめのご挨拶と説明→寄付→茶席→炭手前→懐石料理→濃茶→薄茶→終わりのご挨拶。

西浦漁港で朝ご飯！  
10/21(土)・11/18(土)・12/23(土)・1/20(土)・2/17(土)・3/23(土)

当日払 幼児可 駐車場有

西浦で水揚げされた地魚をコンフィにしたオニギリ2個とクラムチャウダーを提供します。日々水揚げされる地魚が変わるので、いろんな味を楽しんでください。

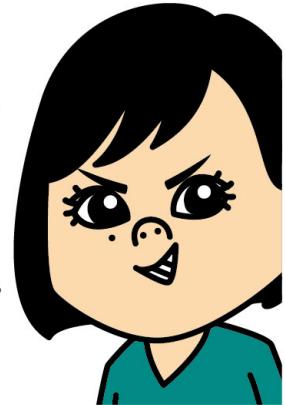
まだまだ気になるプログラムはたくさんありました。  
ぜひ専用サイトや、観光協会などでもらえるパンフレットで  
確認して見てくださいね♪

# ミデコラム

今月のにわか編集長  
足立直子

にわか編集長とは!?

ishin-denshin の編集長は持ち回り制。  
特集ページの執筆や、みんなのコラム  
にコメントをつけたり小コーナーの原  
稿をまとめるのが主な仕事です。



ミデコ社員ひとりひとりが、  
それぞれの個性を活かしたコラムを掲載!



第134回

## パパって呼んでたなあ

ふと、この間思い出した。小さい頃、父親のことを「パパ」と呼んでいたことを。今はパパ、ママと呼ぶ家庭が結構な割合を占めていると思うが、私の小学生時代、うっかり友達との会話の中で「パパ」などと言おうものなら「へえ～パパって呼んでいるんだ」とからかいとまではいかないが一言言われてしまうような時代だった。

母親曰く、「パパ」の方が呼びやすいということだったらしい。母親は、普通?に「お母さん」だったのだが。思春期を経て、父親との関係が悪いとは言わないがなんかギクシャクした時期に「お父さん」呼びに変わっていたような気がする。自分の子どもに関しては現在、「父さん、母さん」と呼ばれているが育てている時は、お父さん、お母さんと自分で名乗りそう呼ばせてきた。パパ・ママの柄ではないしと思。

しかし今、昨年8月に迎え入れた娘のゆきちゃんには、自ら「ママのとこおいでん」とか「パパ早く帰ってくるといいね」とど、すっかりジジイ・ババアなのに話しかけているのである。しかし、ゆきちゃんは、1年経っても「パパ・ママ」とは呼ばず「ワソ」としか呼んでくれないのである。

### にわか編集長コメント

私の友達にも、一人だけ父親のことを「パパ」と呼んでいる子がいました。そしてその子の父親は、周りのお父さんに比べて



第135回

## 日曜朝活はお寺で

最近波にのってきたお寺巡り。常にアンテナを張り次回の訪問先を探るのが日課となりつつあります。今回訪れたのは県外でも市外でもなく市内。しかも歩いていける近所のお寺です。形原にある「林光寺」という浄土真宗大谷派の寺院。たまたまグーグルストリートビューを見ていたら、お寺の門に「お勤めの会」日曜8時～の札を発見。機を見て参加してまいりました。

近いので徒歩でお寺に向かいます。立派な山門をくぐると質実剛健な美しさを感じる本堂が見えます。本堂にあがると既に檀家の方方が集まっており、寄り合いの場というような賑やかな雰囲気。参加者の方々の年齢は予想通りではありましたが、ご年配の方が多く場違いを感じつつも朝勤行に臨みます。ご住職が読経をされると思っていましたが、輪袈裟を身につけた男性の檀家さんが御本尊の前に座っておられるじゃないですか。違和感を感じつつその様子を

見ておりましたが、そのまま「帰命無量寿如来 南無不可思議光…」と正信偈を読まれるのです。しかも、参加者全員經本を手に大きな声で読みます。經本を持ってないのでも聞くに徹しておりましたら、隣のご婦人がお寺の教本を持ってきて貸してくださいました。今読まれているページも適時教えていただき、ぎこちないながらもついていきます。大谷派の朝勤行は名古屋の東別院で聞いていたつもりですが、全く分からずリズム、音程の難解さに苦戦。長谷寺の高速読経とはまた違った高難易度。スローだけれども捉えきれないメロディライン。「南無阿弥陀仏」の読み上げ方(リズムと音程)だけでも多くのバリエーションがあり、その豊富さに脱帽です。悪戦苦闘しながらも檀家の方の読経が上手く、普段着のお坊さん?というぐらいの安定感と迫力があったのが印象的。

その後は法話の時間。ようやくご住職登場かと待っておりましたら、今度は女性の檀家の方が、中央に座り語り始めました。お勤めの会は檀家参加型の朝勤行でしょうか。先の男性の読経の巧さもさることながら、このご婦人の法話が実に熱い。これまで培ってきた人生の知恵というか教訓というか、それらを仏法に照らし合わせながら力強く語っていきます。「今日来られた方々は皆何か思うところがあつてここに集まってこられた」「頭を下げること、合

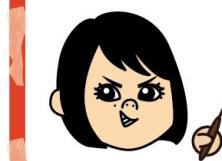


# きおく画伯

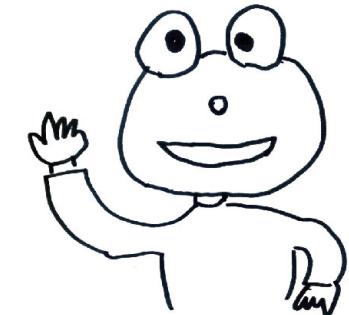
第87回

お題 けろけろけろっぴ

描いた人 山本さん



けろっぴより、セサミストリートのエルモに似て  
いる…！ と思って調べてみましたが、似てませ  
んでした (ナニコレ)。



第134回

## 鬼が出るか蛇が出るか

最近長男の母校に現在通っている、次男の友人・野球小僧J。

スランプを経て、ノーアウト満塁からの三者連続三振(※準決勝)というシビレル活躍で復活した右腕のエース。その勢いで秋季東海地区高校野球静岡県大会、見事優勝！スランプの話を聞いた中学のクラスメイト女子が「応援メッセージを送ろう！」と発起して各々Jに届けるという泣けるおはなしつき。ええ子たちじゃないか。

ちなみに次男は「おまえならできる！」という©ティモンディ高岸ぱりの画像を送りつけ、本人から「ありがとう」(失笑)とお返しいただいたらしい。

そんな次男の方も、リーグ戦が佳境となり、残りひとつも落とせないシビレル展開。ある日の帰宅後。珍しく俯き加減で部屋に入ってきた次男、大事な試合後なので「まさかっ！」と一瞬身構える私。

ふう、とため息をついたあと「俺、点とっちゃった」  
「は？」  
「あのー…セットプレーでさ、上がったクロスに合わせて。しかもヘディングで。高校入ってから公式戦で初得点」(※次男はDF。サイドバックです)  
申告される内容とテンションが合わなすぎて、話が入ってこない。  
少しイラッとしたオット  
「で？負けたのか？」

(はあ？という表情の次男。少し呆れて)  
「…聞いてた？点とったっていったんだよ？ちゃんと3-0で勝ちましたけど」  
ほーっ…安心…。あの目つぶっちゃってヘディングはからきしだった次男がねえ…。比較的高身長の次男(176cm)、長男に「宝の持ち腐れ」とよく揶揄されてた男。ビビリ。

一息ついでた感想は  
「俺が一番驚いてるわ…」  
来月から始まる全国高校サッカー選手権大会の県大会の切符を手にしてる次男たち。この日の感覚で覚醒して勢いづいてほしいもの。  
…が  
日曜の夜になって、  
「しまったー！」  
と叫ぶ次男。金田一耕助か。  
どうやら放心状態からのふわふわ上機嫌でのんびり過ごしてたら、課題をすっかり忘れてたらしい。  
おい、不安しかないんだが？



▲県大会出場祝いの宴(理由がほしいだけというウワサ)

#### にわか編集長コメント

よそのお子さん(しかも野球部)の情報まで掴んでいる前田さんのアンテナの広さにまず驚きです…！

学生時代の部活動。これまであって当たり前だと思っていましたが、どうやら近い将来、諸般の事情でなくなる計画なのだから…？若人たちには今のうちに部活を通した青春を思う存分謳歌してもらいたいですね！



第135回

## 綾瀬はるかを トコトン愛でる

先月とあるグルメ系のバラエティ番組を見ていたところ、幸運にも綾瀬はるか大先生が出演しているシーンに巡り合うことができた。綾瀬さんと言えば今や日本を代表する女優さんの一人と言ってもいいだろう。最近の活躍をちょっと思い出すだけでも、ドラマなら「JIN-仁-」「奥様は、取り扱い注意」「義母と娘のブルース」「天国と地獄～サイコな2人～」、映画では「レジェンド＆バタフライ」の濃姫など、様々な作品で見事なまでに役を演じ切り、さらにCMでは「ユニクロ」「アリナミン製薬」「コカ・コーラ」などその姿を見ない日が珍しいくらいだ。どうやらCM露出ランキングなるものでは、2023年上半期に限れば堂々の1位らしいというのも納得。好感度も抜群だ。そんな綾瀬さんだが、バラエティで見せるその姿はちょっと違う。どこかふんわりとした柔らかな空気感を纏い、お茶目で可愛い気さくな一面を見せてくれる。少し

抜けたところもあったり、トンチンカンなことを言って周りを和ませるところは果たして天然なのか。ドラマや映画で見せるその演技からは微塵もそんなことを思わせない、そんなギャップも彼女の魅力の一つだろう。さて、綾瀬はるか大先生クラスの女優さんがバラエティ番組に出演する理由、大抵の場合は「番宣」に尽きる。今回も8月に公開された映画の宣伝・広告活動とわかつてはいたが、ここはミーハーの意地と誇りにかけてのっかかるしかあるまい。そんな訳で映画館へ出向くのは必ず金曜日の仕事終わりと決めている謎のルーティンに従い、早速見に行ってきた。

今回、東映が誇る綾瀬さん主演映画は「リボルバー・リリー」だ。関東大震災の大正末期を舞台に、裏社会に生きた元殺し屋の女性が、消えた陸軍の秘密資金を巡っての国家的陰謀に立ち向かう姿を描いたアクション・サスペンス。かつて「最も排除すべき日本人」と呼ばれた美しき諜報員・小曾根百合(綾瀬はるか)。二十歳を迎えた彼女は、突然活動を止め、消息を絶った。純粋で一途、故に冷徹非情。終始ニコリともしないクールな表情と低音ボイス。天然な雰囲気は一切封印した演技と得意の身体能力を解放したキレッキレのアクションは、バラエティ番組で見せる無邪気な様子の彼女からは想像を超える姿で魅了してくれる。そして消えた陸軍資金の鍵を握る少年・細見慎太との出会いが、彼女を再び戦場へと向かわせることになった。帝国陸軍の精銳1,000人を相手にたった二人で立ち向かう先に待ち受けるのは…。

とにかく最初から最後まで綾瀬はるか大先生のポテンシャルが高い。大正時代ならではの美しいドレスを身にまといながらの華麗な拳銃さばきは必見の価値あり。追手の背後に潜んで拳一発で仕留めてしまう素早い動き、右腕をスッと伸ばしてリボルバーを構える姿は貫禄すら感じるほど。ラストでは純白の衣装に身を包んだ小曾根百

合が血に染まりながら、撃たれても復活するわ、刺されても立ち上がる、そんなしぶとくも美しい綾瀬はるか大先生が素敵だ。さらに個人的には百合の右腕の存在であり、元海軍で現弁護士である岩見を演じた長谷川博己もカッコよかった。その立ち姿も、一つ一つの仕草もまさに紳士そのものの。こんな役柄が長谷川博己にはやっぱりよく似合うよなと一人納得していたが、最後に岩見が百合に告白しようとするも想いを伝えることができなかったのはお約束のパターンか。山本五十六役に阿部サダヲが起用されていたのは少々難あり?とも思っていたが、実際の背格好は同じくらいだったらしい。まさかそれがキャスティングの理由ではないだろうが、ラストでまさに山本五十六っぽいシーンを見せてくれたのは、阿部サダヲらしからぬ演技でこれまた良かった。他にもヤクザの組長を演じた佐藤二郎。コミカルさを狂気に変えて百合の前に立ちはだかる、いやらしい役柄ではあったが、いかにも二郎さんっぽくて妙にしっくりきた。そしてエンディング間にシルクハットを深くかぶり、左目に眼帯、右手で拳銃を百合に向かって的是ナント鈴木亮平。出演時間は体感で5秒ほどか。なんたる贅沢なキャスティング。その全身黒づくめ姿の不気味な風貌とまさかの出演には続編の可能性も示唆してのフィナーレとなつた。

ここで朗報！あの亜希子さんが2年ぶりに帰ってくる！これまた綾瀬はるか大先生が主演を務める「義母と娘のブルース FINAL 2024年謹賀新年スペシャル」が年明けの1月2日に放送されることが発表された。綾瀬さんの出演したドラマの中で個人的には一番好きなギボムス。すでに脳内をMISIA先生のアイノカタチが鳴り響く。宮本家のその後はもちろん、ベーカリー麦田の店長、商店街のみんなはどうなってしまうのか。ついにファイナルを迎えるということで、これまで以上に深い愛情と温かい

物語を期待せずにはいられない。ぜひ最後までそれぞれの人生を見届けて楽しめることができそうなギボムスが今から待ち遠しい。

#### にわか編集長コメント

ギボムス、放送当時話題になっていたのは覚えていますが、一度も見たことなく。しかしいろいろ見まくっているミーハーな大河内さんが「綾瀬はるか出演ドラマの中で一番好き」というからには、見なきゃ損な気がしてきました！

## 一に日本道

水野 順也

第134回

## PDCAは アテにならない？

計画→実行→測定・検証→改善という一連のフローを回せるフレームワークである。アテにならないというのは、そもそも計画が間違っていたらどうなるのか？という疑問がある。仮定の話だが、間違った計画は実行しても大きく修正しなければならない、もしくは途中で頓挫するので多くの損失が生じることになる。損失は時間と力である。ある会議においてはそんなことは良くある。なんか違和感を感じながら、同調圧力や孤立恐怖に負けて、発言がないから賛成とされ、そのまま実行段階へ移行する。いくらお客様参加と思っていても、時間の損失は還ってこないものだ。ゴルフでもティーグランドで打つべき方向(立ち

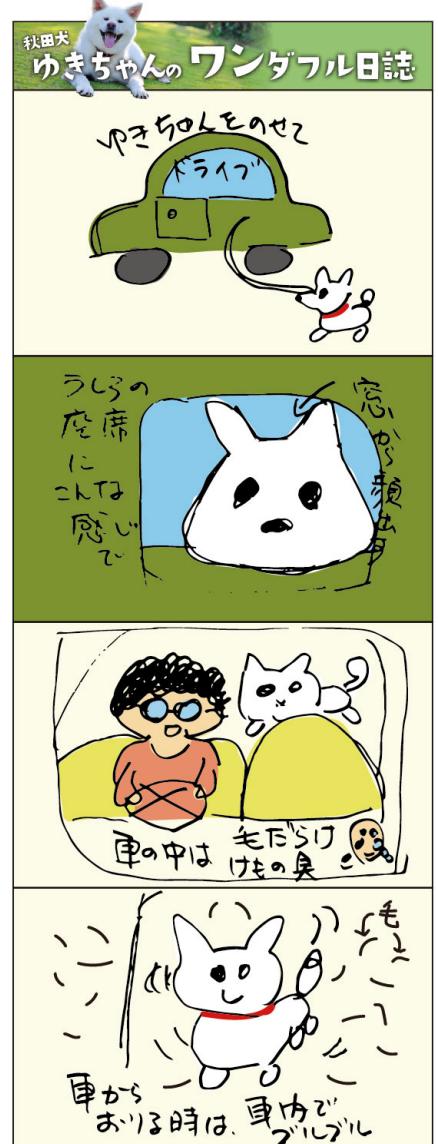
位置)が間違っていると、スイングに入った瞬間に違和感が発生してそのままOBゾーンへなんてことは私には良くある。これと同じことだと思う。もうゴルフ中なんかPDCAどころではない(上手な人はできているが)。

話が逸れたが、やはり計画段階で時間をかけるべきだと思う、将来のなりたい姿と現在の状況把握とのギャップを洗い出すことが大切だ。これが現在の課題となる。この課題に優先順位を付けてなりたい姿への道筋を検討するのだ。多くの課題があるが、重要な課題を潰すと他の課題も自然に解決できることに気づくから、課題の優先順位も重要である。どうでもいいことを計画に入れ込むからおかしくなるのだ。

合わせて、資料にはそのプロジェクトの目的と目標を記載して欲しいと思う。議論が噛み合わなくなったりする場合に立ち戻れるからだ。

#### にわか編集長コメント

PDCAの最初の計画が大幅に間違っていた場合、1周目からあまりにも遠回りで損害が大きいということですね。PDCAを回して最終的に目的が達成できたとしても、最初のPからできる限り精度の高い状態でスタートしていた方が当然良いわけで…。どの仕事にも言えますが、やはり最初の企画をおろそかにはできないと身が引き締まる思いです。



ていた喫茶店の内装とは違い、小綺麗なカウンターのみの小さなお店。上品な女性店主が温かく迎えてくれます。

話を伺ってみると、実はこちらのお店、60年以上お寿司屋さんだった場所を5年前に喫茶店としてリニューアルオープンされたんだとか。元々寿司ネタが並んでいたであろうショーケースには、今はコーヒーカップや食器が並べられ、なんだかオシャレ。先客は2名、どちらも常連さんのようなようでした。

みんな揃って高山ラーメンを注文。社長と山本さんはさらに鮭おにぎりも追加注文です。高山ラーメン、初めて食べましたが美味しいですね～！最近はどの



ラーメン屋さんもこってりスープが多い気がしますが、久々に昔ながらの澄んだ醤油ラーメンをいただきました。さらに、お持ち帰りで卵サンドも注文。しかし出来たそばから全員我慢できず、その場で食す。もっちり食パンにほのかに甘いツルツルの厚焼き卵、絶品です。

今回のこっそり食堂、素敵なお店を発掘しました。お店のカウンターは7席のみ。店主さんがお一人で回しているので、一人での来店がおすすめです（3人で行ってしまいましたが…焦らせてスミマセンでした…！）。（文・足立）

## レッツ コミュニケーション！

今月のお題

最近、  
「コレ買って正解！」  
だったもの



三谷の防火帯の一角に、いつの間にやらオープンしていた「喫茶 もも福」。ドキドキしながら入り口を開けると、予想し



## にわか編集長 コメント

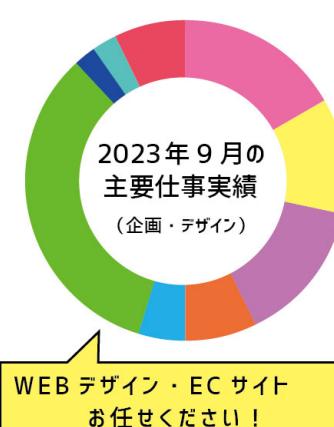
こちらのオシャレなお店もさることながら、この一角が丸ごと昭和感溢れていてステキでした。商店街の中には他にも良さげなお店があったので、いろいろお邪魔してみても面白そうです。

今月の 八百万百景

豊川で感じる天平の息吹

撮影者: 山本兼佑

豊川にある三河国分尼寺跡です。こちらは発掘調査の末、礎石や伽藍配置やうわものとして中門が再現されています。奈良時代聖武天皇の勅命で建てられ、国分尼寺としては大規模な伽藍配置が特徴だそうです。近くに国分寺、国府跡、前方後円墳など三河地方の歴史を学べる良スポットが点在しております。



## 今月の

## にわか編集長

編集後記も持ち回り制!

前田さんが最近買ったという「解脱玉」が気になりすぎて検索してしまいました。…ナニコレ…欲しい…!! 長年肩コリに悩まされている私。これはもう買うしかないかも。

足立直子